

厚労省は7月31日、2013年の日本人の平均寿命は女性86.61歳、男性80.21歳で、いずれも過去最高を更新したと発表しました。

前年より女性は0.20歳、男性は0.27歳延び、男性は調査が始まった1891年以来初めて80歳を超えました。女性は2年連続で長寿世界一です。

厚労省によると、がんや心疾患、脳血管疾患、肺炎で亡くなる割合が下がったことが、平均寿命の延びにつながっていると話しています。

また、医療技術の進歩で、今後も平均寿命は延びる余地があると分析しています。

(厚労省HPから)